

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターのびろ 【児童発達支援センター】		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	2024年4月に開設したところであり、設備や生活空間が整っている。	その設備や備品、より有効に活用するための勉強会を定期的に行っている。また利用者にどう役立っているのかについての研修を職員間の個別支援会議で共有している。	職員の自己研鑽に引き続き努めたい。
2	職員に公認心理師、看護師、保育士、理学療法士など国家資格取得者を多く採用している。	療育および支援技法、虐待防止、権利擁護さまざまな観点からの研修に積極的に参加している。	職員の自己研鑽に引き続き努めたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	2024年4月に開設したところであり、所在地の地域住民の方との結びつきに欠ける。	内覧会の案内等は自治会を通じて配布したものの実際に訪れた方はまだおらず、当センター側もそれ以上のアプローチをしていない。	2024年度は近隣のコンビニに行き、好意的な言葉をいただいた、など個別に幾力所か挨拶を行った。2025年度は近隣の自治会のこども会さんとのコラボ事業ができないか模索中である。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 **こども発達支援センターのひろ** 【児童発達支援センター】

公表日 **2025年 3月 1日**

利用児童数 **22名** (2024年12月1日現在)

回収数 **21名**

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1		1	・とても魅力的な空間が多い。 ・勉強やゲームをしたりするスペースが確保されていると思う。 ・思いっきり身体を動かさせています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	2		4	・これから年長の学年になり配置数が少なくなると聞いていて不安な面もありますが、自立のために必要なことだと思います。	・職員数は法で定める最低基準以上に配置しています。お子さんお一人お一人にあった職員（プログラム担当）配置に心がけますのでご安心ください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			1	・エレベータもあり移動しやすい。 ・段差もなく車椅子の人も利用しやすいと思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21				・新しい空間でエレベータなど好きなものもありお気に入りの様子。 ・とてもきれいです。	・満点をいただきました。今後も施設美化に心がけます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1		2	・まだ始めたばかりなのでわかりません。 ・子供の得意・不得意を理解してくれ、子供が理解しやすいようにいろいろと対応してくれていると思う。 ・一人ひとりに合わせて丁寧に支援しています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	2		1	・私が気づけなかったわが子の特性を教えてくださいました。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	2		1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	5		2	・固定化はせずに、でも何回かは同じプログラムで理解（ルール等）につながっている。 ・まだ内容のすべてを把握していません。	・プログラムはその目的によって、固定化つまり繰り返したほうが良いものと変化させたほうが良いものがあります。のひろではお子さんに合ったプログラムを組むよう心がけています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	2	7	・積極的に園と関わっていただき、ありがたいです。	・できる限り在籍園にも伺ってまいります。園との交流の在り方については現在模索中です。
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					・満点をいただきました。今後も丁寧な説明に心がけます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					・満点をいただきました。今後も丁寧な説明に心がけます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3	1	4	・まだ参加出来ていないが、研修会なども参加していきたい。 ・そのようなイベントがあるのかわからない。あったら参加したい。 ・支援校にお話しています。	・のひろでは福井市地域障がい児支援体制強化事業の一環として、ご家族対象の勉強会や保護者サロンを企画してまいります。その都度ご案内しますのでぜひご参加ください。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1		1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	3		1	・毎日終わりの際のフィードバックで実際見ていない親のいない間の行動や相談ができています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1		1		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	3	9	・プログラムの後半に保護者で待ち時間にお互いの子供の話をしたりする時間・機会があり、まだ同じ悩みをもつ保護者つながりが少ない中で助かっています。 ・そのようなイベントがあるのかかわからず。あったら参加したい。	・のびろでは福井市地域障がい児支援体制強化事業の一環として、ご家族対象の勉強会や保護者サロンを企画してまいります。 ・ご兄弟支援については今後の課題としております。ご相談やご要望ありましたら、ぜひ職員にお教えください。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2		3		・都度のご相談お申し入れ等についての窓口や体制について契約の際にお伝えしているところです。何なりとお申し付けください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	4	3	8		・HPに当センターの理念や方針、支援内容などを掲載しています。ぜひ一度ご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1		1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	3		4		・お子さんの安心安全を確保するための各種マニュアルを策定し職員一同順守するよう心がけています。センター内に掲示してありますのでお時間あるときにご参照ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	3		11		・のびろでは年二回避難訓練を実施しています。うち一回は福井市中消防署西分署のご協力のもと真剣に取り組んでいます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1		3		・幸いまだ事故等は発生していませんが、その際は迅速且つ適切に対応できるようマニュアル等も整備しています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1		1	・まだ様子見な感じがする。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20			1	・まだ様子見な感じがする。 ・カレンダーを見ていく日を確認している。今までにしたプリントを見かえて楽しんでいる。 ・楽しみにしていて、出来事を話してくれます。	・ほとんどのお子さんが楽しみにしてくださっているとのこと嬉しく思います。職員一同さらに精進いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1		1	・いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援センターのびろ 【児童発達支援センター】		公表日 2025年 3月 1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		2025年4月に開設したところであり、設計段階から定員に見合った部屋数とスペースを確保してある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		2025年4月に開設したところであり、ピクトグラムや掲示板、ホワイトボードなどの配置など、わかりやすい環境に仕上げてある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		設計段階から様々な工夫を凝らしてある。また空気清浄機も各所に配備した。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個室から多目的室、大型研修室まで、こども一人一人に配慮した部屋の使用が可能である。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		月2回、1回3時間(計6時間)を業務改善や個別支援のためのミーティングに充てて、全職員が意見を言い合える環境を整えている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		本評価表の結果を職員だけでなく利用ご家族にも配布し、課題を皆で改善する意識を共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月2回、1回3時間(計6時間)を業務改善や個別支援のためのミーティングに充てて、全職員が意見を言い合える環境を整えている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		外部から研修講師を招き、療育支援プログラムに対して忌憚ない指導を受けることで、業務の質向上に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部講師による研修だけでなく、外部研修受講を積極的に勧めている。またそのための費用負担も行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		そのように心がけている。複数担当制を敷いている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		そのように心がけている。月2回の職員会議で、繰り返し「こどもの権利と最善の利益」について共有している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		12・13のとおり	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		標準化されたアセスメントシート(各種発達検査・評価)の研修受講を推奨している。またその時々「行動を観る」を意識している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		月2回、職員会議で全利用児の個別支援会議を実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		そもそも固定化したほうが良い利用児もいるので、固定化しない工夫という意図が分からない。その子にあったプログラムの立案に心がけている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		そのように心がけている。のびろでは、個別療育、目的別小集団、生活全般を整える保育、さまざまなプログラムを行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		そのように心がけている。各プログラム担当者間で、ミーティングの時間を確保するようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		そのように心がけている。各プログラム担当者間で、ミーティングの時間を確保するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		利用児の通っている病院やこども園、福祉事業所、学校には原則、こちらから一度は出向くようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答)	5	1		福井市から地域課題解決のための強化事業を受けておりこの責務にあるが、母子保健や教育分野との協働には課題がある。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6		福井市自立支援協議会こども部会委員	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		職員間の情報共有や交流には心がけているが、こども同士の交流会は未実施。ただほとんどの利用児が園に在籍しているので地元のこどもたちとの交流はある。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		福井市の地域障がい児支援機能強化事業に於いて、各種研修会や保護者サロンを企画・実施しているが、のびろの利用家族への参加促進については今後の課題である。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	今年度4月開設時の内覧会は、地域自治会にも案内を配布。	施設遊具の開放や自治会こども会との交流、災害時の施設開放など、今後取り組むべき課題は認識している。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	本アンケートは2024年12月に実施した。BCPは2025年2月に策定し、全職員と内容を共有したところである。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		看護師を中心に、利用児の医療的ケアの内容と処置について確認と状況に応じた対応を日々確認している。	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		職員担当保育士と看護師を配置。昼食提供者および法人内管理栄養士とも密接な連携をとっている。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		担当委員会を設置。定期的な委員会の開催と検討内容の周知を行っている。	
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		担当委員会を設置。定期的な委員会の開催と検討内容の周知を行っている。	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		担当委員会を設置。定期的な委員会の開催と検討内容の周知を行っている。	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		担当委員会を設置。定期的な委員会の開催と検討内容の周知を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		担当委員会を設置。定期的な委員会の開催と検討内容の周知を行った上で、個別支援計画にも反映している。		